

東急車輛製造株式会社 殿

改造概要等説明書 (改造自動車等審査結果通知書)

指示事項

主要諸元比較表

項目		標準車	改造車	基準	(試作車・組立車)		
項目		標準車	改造車	基準	標準車	改造車	基準
車名			東急				
型式			TF36G5C3S				
乗車定員	人						
最大積載量	kg					28100	
自動車の種別	普通					11110	≤10t
	貨物					8295	≤10t
用途	セミトレー					8290	≤10t
						8295	≤10t
車体の形状						35990	≤26t
燃料の種類							
原動機型式							
総排気量	L						
長さ	m		10.930 (10.390)	≤12m			
幅	m		2.490	≤2.5m			
高さ	m		2.260	≤3.8m			
軸距	m		6.250+1.300 +1.300 =8.850				
輪距	前前輪						
	後前輪		1.850				
室内又は荷台の内側の寸法	長さ	m	10.500				
	幅	m	2.350				
車両重量	前前輪		1770				
	後前輪		2040				
積載時	後中輪		2040				
	後後輪		2040				
荷重割合	%						
積載時前輪荷重割合							≥18、20%
リヤ・オーバーハング	m					1.480	≤1/2
荷台オフセット	m					2.510	
最小回転半径	m					* 9.4	≤12

能力強度等検討

制動能力	踏力	-kg	60km/h	39m	車軸強度	$\sigma b/\alpha = 49.97/8.375 \times 2.5 = 2.39 > 1.6$
		空気圧	637kpa		車軸強度	東急TF50H4C3型セミトレーと同一
推進軸	回転数				操縦装置強度	-
		強度			緩衝装置強度	東急TF50H4C3型セミトレーと同一
					制動装置強度	東急TF50H4C3型セミトレーと同一
					連結装置強度	東急TF50H4C3型セミトレーと同一

- 注1. 能力強度検討欄は、該当しないものは-、省略したものは×を記入すること。  
注2. \*印は いすゞ KL-EXD52D3型トラクタと連結時の計算値を示す。  
注3. (試作車・組立車) の欄には、該当するものを○で囲むこと。

BA012784

構造等の概要

目的	分割可能な貨物の安全輸送をはかるため、(脱着式スタンション型)セミトレーラとして新たに製作されるものである。
車枠及び車体	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部下面にキングピンを、後部に車軸装置を取り付けている。 突入防止装置は既屈出済みの1QAを取り付ける。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12自審 第104号 新型自動車第16884号) 車軸は高張力鋼で、中空角型断面チューブの両端にスピンドルを溶接した構造を有する。
操縦装置	
制動装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12自審 第104号 新型自動車第16884号) (主ブレーキ) 気圧内部拡張式 (駐車ブレーキ) スプリング式 A B S装置一式
緩衝装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12自審 第104号 新型自動車第16884号) イコライザー付きトリプルスプリングサスペンションの半だ円板ばね型である。 但し、ばねは東急TF28H8C21型セミトレーラと同一。(11自審第1587号新型自動車第17005号)
連結装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12自審 第104号 新型自動車第16884号) 第5輪方式 JIS-D-6602に準じて製作してある。
燃料装置	

注 該当する事項が無い場合については、斜線で記入すること。

